平成28年度 第2回石狩市地場企業等活性化審議会議事録

日時 平成28年9月28日(水) 14:00～15:00

場所 石狩市役所3階庁議室

出席者 委員：北山雀会長、酒井志津子副会長、高梨朝靖委員、大田富夫委員、
渡辺百美子委員、鈴木いずみ委員

石狩市：企画経済部産業振興担当部長 百井宏己

商工労働観光課 課長 小島 工

商工労働観光課 主査 中野 映

商工労働観光課 主任 河田寛史

傍聴者 0名

=====
【事務局(小島課長)】

定刻となりましたので平成28年度第2回石狩市地場企業等活性化審議会を開催させていただきます。

早速ですが議事進行に入らせていただきます。前回同様、議事進行を北山会長にお願いしたいと思っております。本日の会議ですが、およそ1時間程度を予定しておりますけれども、活発なご意見をいただければと思っております。それでは北山会長、よろしく願いいたします。

【北山会長】

それでは、時間の関係もありますので、早速始めたいと思います。本日の議事ですけれども、1つありまして、石狩市地場企業等活性化計画の第4次計画の素案についてということで、早速審議してまいりたいと思います。内容についてはお手元にありますので、事務局からご説明をお願いしたいと思います。よろしく願いします。

【事務局(河田主任)】

事務局の河田です。それでは私から計画素案についてご説明をさせていただきます。

説明に入る前に、計画素案の作成にあたりましては、8月上旬から中旬にかけて、委員の皆様からは大変お忙しい中お時間を頂戴してヒアリングをさせていただきました。ありがとうございました。ヒアリング時にお示しした素案のたたきから、委員の皆様からのご意見、さらには市役所庁内の関係部署からの意見も踏まえ、今回お配りした素案へと修正をさせていただきました。

それで一点、皆様にお詫びしなければいけないのですが、本日の会議に先立ちまして、会議資料を事前にお送りさせて頂き、お目を通した上でのご参加をお願いしておりましたが、皆様への資料送付後に事務局において一部修正を加えさせて頂いており、事前配布した資料と本日の配布資料が違っております。委員の皆様におかれましては、ご多忙の中、資料へのお目通しを頂きながら大変申し訳ございませんが、本日お配りした資料を基に、会議を進めさせて頂きたく、どうぞよろしく願いいたします。

まずは、お手元の資料1「石狩市地場企業等活性化計画第4次計画(素案)の体系図」をご覧ください

い。この体系図につきましては、前回6月の第1回目の会議の際に、ご了解を頂いておりましたが、その後事務局において検討を重ねた結果、今回お配りした体系に変更をさせて頂いております。主な変更箇所としては、類似項目の統合、さらには文言整理です。詳しくは、計画素案本文のご説明の中で触れさせて頂きます。

次にお配りした資料2「石狩市地場企業等活性化計画第4次計画(素案)」をご覧ください。本日は皆様から頂戴した意見の内容、さらにはそれを踏まえて修正等を加えた箇所を中心にご説明をさせて頂きます。

1ページから2ページにかけての第1章「第4次計画の策定にあたって」ですが、事前配布時に項目立てされておりました「計画策定の体制」については、石狩市地場企業等活性化条例で明記されていることから削除し、事前配布時に項目立てされておりました「計画の変更」は、計画の推進管理等を行っていく中で必要に応じて行っていくことから、「4計画の推進管理等」に統合しております。その他、一部の文言整理による修文を行っています。

3ページから10ページまでの「第2章地場企業等の現状と課題」ですが、事前配布時の「第2章本市を取り巻く経済情勢」と「第3章地場企業等の現状と課題」を統合しています。これは事前配布時に第2章としていた「我が国経済を取り巻く状況」と「本市経済を取り巻く状況」については「地場企業等の現状と課題」に通じるものであることから、あえて章を分ける必要がないとの事務局の判断でございます。

4ページの「本市経済を取り巻く状況」については、主に新港地域の近況に係る部分の修文を行うとともに、事前配布時の第3章の「1総論」の記述を追記しております。

5ページの「3農林水産業の振興」の「①現状」では、地域の農業の特色を述べる部分で農協名をあえて出す必要がないといった意見や、農業に求められているニーズについて、農作業体験のみではないとの意見をはじめ、文言修正に係るご意見がありましたことから、文言の加除修正を行っております。同じく6ページの「②課題」では、6次産業化を目指す取組として、消費者ニーズにマッチさせることが重要だとの意見、海外への販路拡大を目指すべきとの意見をはじめ、文言修正に係るご意見がありましたことから、文言の加除修正を行っております。

6ページの「4商工業の振興」の<4-1商業>の「①現状」については、上から3行目の年間販売額の増加率算出についての修正意見を踏まえた修正、その他新港地域に係る修文等を行っております。7ページの「②課題」では、買物弱者対策への早急な検討の追記をはじめとした、文言修正を行っております。

同じく7ページの<4-2製造業・建設業>についても文言修正を行い、8ページの<4-3雇用・勤労者対策>の「①現状」については、以前の有効求人倍率が低かった「買い手市場」から「売り手市場」へ雇用情勢の変化等を受けるなど、必要な修文を行っております。

9ページの「5観光の振興」については、必要な文言整理を行い、10ページの「6石狩湾新港地域の振興」については、新港地域の現状と課題について、関係部署の意見を踏まえ、現状に即した形に一新しております。

11ページ以降の「第3章地場企業等活性化に向けての施策方針」ですが、事前配布時の「第4章地場企業等活性化に向けての基本方針」と「第5章地場企業等活性化に向けての施策方針」を統合しております。基本方針と施策方針とを並べて記述した方が、読みやすいとの事務局の判断でございます。

12ページの「1 石狩湾新港地域の活性化」については、時間経過に伴う文言の削除を行うとともに、関係部署の意見を踏まえ、一新しております。

12ページから14ページの「2 地場企業等の経営基盤強化」ですが、事前配布時は「地場企業等の経営革新と基盤強化」になっていたのですが、市として本計画を元に経営革新までを促すことは難しいことから、文言を修正しております。

次に、事前配布時には「(1) 情報・事例の提供」、「(4) 地域活性化のための組織等の強化」とありましたが、実際の施策を進める上では情報の共有や発信、さらには関係機関との連携が主要な施策となり、類似していることから、今回「(1) 情報の提供及び組織等の強化」に統合し、一部文言整理を行っています。

次に13ページをご覧ください。事前配布時には「(2) 建設業の革新」とありましたが、これも市として本計画を元に革新を促すことは難しいことから、「(2) 建設業への支援」へと修正するとともに、必要な文言修正を行いました。

「(3) 金融支援等の強化」については、金融機関からの融資以外の資金調達手法として例えば市として育成したい分野を対象とした「ファンド」を作ることも一つの手法である旨の意見を頂きました。それこそ、北海道においては、小規模企業者への支援に向けた「北海道小規模企業振興条例」を本年4月に施行し、その施策の一環として、来年3月までに「小規模企業支援ファンド」の設立を表明しており、市としてもファンドに係るニーズや必要性などを、金融機関とも連携して検討していきたいと考えており、文言自体には反映しておりませんが、実際の事業組みの中で検討していきたいと考えております。また、地場企業等が日頃から金融機関と資金繰りなどについて相談しやすい環境づくりが必要である旨の意見も頂き、これについても後段の「経営相談体制の充実を図ります」と記載しているとおり、関係団体と連携して取り組んでいきたいと考えております。

「(4) 人材の育成支援」については、インターンなど大学との連携が効果的ではないかとの意見を頂き、本文の記述に大学生も含んでいることから修文等はいりませんが、大学生を意識した施策についても検討していきたいと考えております。

「(5) 労働力確保への支援」については、働けるのに働かない若年者への対策、期間限定で労働力を求める企業への対策などが必要との意見を頂き、これらについては、本計画に基づく対策の1つとして、関係機関とも連携の上、検討して参りたいと考えております。また、外国人労働力が今後伸びていくことに対して必要な対策を実施すべきとの意見も頂き、これについては、今後の国の動向、関係機関とも連携の上、検討して参りたいと考えております。併せて事前送付時に柱立てしていた「3 新たなネットワークの構築・人材活用」の「(2) クラウドソーシングの促進」については、「労働力確保への支援」の一つの手段であることから、事務局の判断でこちらに統合しております。

「(7) 小規模企業者への支援」、「(8) 後継者対策」、「(9) 創業・起業等支援」については、若年層の担い手と呼び込むための仕掛けづくりをすべきとの意見を頂き、これについてもそれぞれの分野でターゲットとなる人材の確保に向けた環境整備について、関係機関と連携して検討して参りたいと考えております。また、事業継承に向けた支援への必要性についても意見を頂いており、マッチング支援や人材の後継者の人材育成の部分についての必要な施策について、こちらも関係機関と連携して検討して参りたいと考えております。それと、事前配布時にあった「(10) クラウドファンディングの活用促進」について、地域に合ったスタイルを考えるべきとの意見を頂き、こちらについても金融機関をはじ

め、関係機関と連携の上、検討して参りたいと考えております。また、「クラウドファンディングの活用促進」については、14ページにある「創業・起業等支援」の1つの手段であることから、事務局の判断でこちらに統合しております。

次に、事前配布時にありました「3新たなネットワークの構築・人材活用」については、全ての基本方向に密接に関係することから、事務局の判断で柱立てを取り止め、事前配布時にあった「(1) 異業者等の連携」を後に出てきます「4地域コミュニティの活性化」に移行するとともに、「(2) クラウドソーシングの促進」については、先程ご説明申し上げたとおり「2地場企業等の経営基盤強化」の「(5) 労働力確保への支援」と統合しております。

次に、「3石狩のブランド力向上」については、「石狩」の知名度は「石狩鍋」をはじめとした言葉だけではないかとの意見、さらには物産機能の強化に係る目的が抜けているとの意見を受け、修正を行っております。

「(1) 地産地消の推進」については、既に展開している「いしかり地産地消の店認証事業」を今後も継続して展開すること、平成30年にオープン予定の道の駅で積極的に展開すべきとの意見を受け、文言修正を行いました。また、今年度から通年営業となる「とれのさと」に係る機能強化が必要との意見を頂き、こちらは運営主体とも連携し、機能強化に向けた検討を進めて参りたいと考えております。

「(2) 特産品の知名度向上活動」、「(4) 販路拡大支援」については、地場製品の価値を高めるために、発信力のある外部機関、例えばホテル、ミシュランなどとの連携などが必要との意見を頂き、そのような外部との連携など有効な方策等を関係機関との連携の上、検討して参りたいと考えております。また、既に首都圏や海外などに展開している地場企業等と連携することで地産外消が進むとの意見も頂き、これについても関係機関との連携の上、検討して参りたいと考えております。

「(3) 特定地場産財の指定制度の設計」については、石狩市を代表する地場産財がない、商品開発に取り組める恒常的な組織がないといった意見を頂いており、地域外の視点を入れた恒常的な組織の検討など、必要な取組みについて関係機関とも連携の上、検討して参りたいと考えております。

15ページの「(5) ふるさと納税の推進」については、年々伸びているトレンドを踏まえ、しっかりと取り組むべきとの意見を頂いており、地域のイメージアップにも繋がることから、関係機関とも連携の上、取り組んでいきたいと考えております。

次に、「5地域コミュニティの活性化」ですが、事前配布時には「地域コミュニティの担い手の活性化」となっておりました。これについては、担い手の活性化は最終目的ではなく、あくまで地域コミュニティ活性化の手段であるとの事務局の判断から、修正を行っております。

まず「(1) 地域商店街の活性化」ですが、事前配布時の「(1) 新たな購買層の取り込み」と「(3) 恒常的な地域活性化策の推進」を統合しております。前回の審議会の中で商店街の活性化をしっかりと取り組んで欲しいとの意見を頂きましたことから、ここでは地域コミュニティの担い手として「商店街」に特化した記述とさせて頂きました。その中で、商店街への若年層の呼び込みや空き店舗を活用した取組みをしてはどうかといった意見を頂き、これについては、商店街をはじめとした関係機関とも連携の上、若年層を呼び込む方策について、空き店舗などを活用した対策も絡めながら検討して参りたいと考えております。

「(2) 異業者等の連携」については、先ほどご説明申し上げたとおり、事前配布時の「3 新たなネットワークの構築・人材活用」から移行してきたものでございまして、異業者等の連携から地域コミ

ユニティの活性化を期待するものでございます。

「(4) 地域の買物環境の整備」について、事前配布時は「買物弱者への支援」となっていますが、本計画は産業的な視点による計画であることから、文言を変更させて頂いております。また、まずはモデル的に実施すべきといった意見や、これを行うにあたり「地産地消」を徹底すべきとの意見を頂き、関係機関と連携の上、地産地消を絡めた方策について検討して参りたいと考えております。

最後になりますが、本計画の重点項目として、あくまで現時点におけるイメージですが、3点事務局で検討しております。

一点目として、12ページからの「2地場企業等の経営基盤強化」の「(4) 人材の育成支援」、「(5) 労働力確保への支援」、「(6) 小規模企業者への支援」、「(7) 後継者対策」あたりを絡めた人材のマッチングから交流・育成までのパッケージ事業、その中で外国人の活用も含めて検討していきたいと考えております。

二点目として、14ページからの「3石狩のブランド力向上」のそれぞれの項目を絡めたパッケージ事業、それこそ石狩ブランド制度の設計から商品開発も含めた商品登録、登録された商品の販路開拓や知名度向上といったものを検討していきたいと考えております。

三点目として、15ページからの「4地域コミュニティの活性化」のそれぞれの項目を絡めたパッケージ事業として、商店街をハブとした地域循環型経済創出に向けた取組みを検討していきたいと考えております。

以上駆け足で説明をさせて頂きましたが、検討事項とさせて頂いたご意見も多々あり、これについては、本計画の素案が固まり次第、各種関係団体との折衝を始め、検討を進めていきながら、実施の可否等を判断して参りたいと考えております。私からの説明は以上です。

【北山会長】

ただ今、事務局より説明がありましたとおり、8月に書面でご意見をいただいた中で、事務局で取りまとめ、さらに集約したものが素案ということで提示されています。ご質問、ご意見などがありましたら、お受けしたいと思います。何かございますか。

【酒井副会長】

14ページの3の(1)地産地消の推進で地域通貨の活用で、現在石狩にはないですけども、いろいろな地方で行っているの、何かメリット、商売が皆さん低下しているの、このあたりで皆さんが勢いをつけて欲しいと思っています。

【北山会長】

ブランドの向上の中で位置付けられていますけれども、当然地域全体、商店街も連携しながら二次産業、三次産業も含めてということで。

【事務局 (小島課長)】

今、酒井副会長よりご意見を伺いましたけれども、前回の計画時に地域通貨の活用の検討の文言はありました。商工会議所で2、3年前に地域の共通商品券、いわゆる昨年実施しましたプレミアム付商品券のプレミアムの付かない地域内限定の商品券の検討をされていたと伺っています。そのような地域限定の商品券という地域通貨が一つ考えられます。もう一つは、大型店舗でカードを使ったときのポイント、そのポイントを地域に還元、使用できるような取り組みをしている地域もあると伺っております。そのような取り組みの調査を行うなど、いろんな観点から、地域でお金が循

環する仕組みを考えていきたいと思います。

【酒井副会長】

大型店は強いので、昔から石狩市を支えてきた商店街が衰退するのは切なくて、今頑張らなければいけないという思いがある。ぜひ地域の皆様に助けをいただく、利用いただく、その代わりにいろいろな事を提供するなど、アンテナを張り、また勉強して、商品開発などいろいろなことを提案していかなければならない時代なのか、という気がしている。

【北山会長】

先程事務局から事務局から説明があったとおり、商店街の組織体制、受け皿をしっかりとってお互いにキャッチボールできるようになることで、もっと有効な施策が打てる。商店街も受け皿づくりを進める必要ある。

【酒井副会長】

いろいろな商店街があり、一つにまとまらないという難しさはあります。商工会議所とも話し合いながら頑張っていきたいので、よろしくをお願いします。

【北山会長】

その他ご意見ございますか。

【鈴木委員】

質問なのですが、2、3、4について、今まで行ってきたものの延長であるのか、今後新しいことなのかを知りたい。

【事務局（河田主任）】

計画の柱については、前回の第3次計画を基に、今回作成しているところもありますので、项目的には第3次計画に掲載していた部分も多々あります。例えば3の石狩のブランド力向上の(3)の特定地場産財の指定制度の検討については、一時期、平成23年度頃制度を作り動いていたのですが、現在止まっているところもありますので、もう一度力を入れて、しっかりした石狩ブランドを作り、そこから販路拡大を進めていくということで、重点施策の一つとして挙げているところでございます。

2については、例えば(4)の人材育成支援や(5)の労働力確保への支援については、前回においても柱立てしていたところで、セミナー開催などは行いましたが、さらに三次計画の5年間に国の施策において、小規模企業者支援や後継者の問題、創業・起業等への支援など増えているトレンドがありますので、そのような所を絡めてマッチングなどできないか検討しているところでございます。

4については先程、重点的には商店街をハブとしてという話はしましたけれども、「商店街」という言葉が第三次計画にはありませんでした。特化した訳ではないですが、前回の会議において、商店街が衰退しているなどのご意見も出たことから、我々もそこに包括しまして行っていきたいと考えております。

【北山会長】

その他ご意見ございますか。

【酒井副会長】

ふるさと納税は、今までにしんでしたが、今は変わってきているのですか。いろいろな商品、石

狩の地場産品を。何か質問をする場合、どちらに問合せをするのでしょうか。

【事務局（小島課長）】

市役所内部の担当は、財政部の財政課が主の担当となっております。今年の2月からは、ふるさと納税していただいた方に、生のにしんをお送りしていましたが、担当において新たな取り組みを考えておまして、来年度の返礼品から、にしんに限らず、市内のいろいろな一次産品、農産物や海産物、また加工品など市として出せる特産品を増やすことで、それを観光協会にお願いすることで事業を進めている。関係団体を通じて出せる特産品がないか情報を照会させていただいているところでございます。ぜひ、逸品がございましたら私どもや観光協会にご連絡をいただければと思います。

【高梨委員】

徐々に選定をして、11月頃にはある程度まとめて、市に提案させていただく予定ですが、すべてを観光協会を選ぶのではなく、観光協会において提案をさせていただき、最終的に検討会で決定していただく。最初においては、おおよそ30アイテム予定しております。徐々に選定し、まとめているところでございます。

【北山会長】

その他ご意見ございますか。それではご意見が無いようなので、今回の提案された第4次計画の素案については、これでご了承したいと思います。よろしいでしょうか。

【全出席委員】

はい。

【北山会長】

ありがとうございます。それでは、素案について了承ということになりましたので、事務局にお返ししたいと思います。

【事務局（小島課長）】

ありがとうございます。続きまして、その他ですけれども、二点連絡がございます。一点目ですが、前回の会議においてもお伝えしましたが、本年度私ども産業振興に関する4つの計画、農業、漁業、観光とこの地場企業等活性化計画を策定中でございます。産業振興ということでそれぞれ密接に関係することから、単独で作成するのではなく、横串を通した形で連携して計画を作成していきたいことから産業振興計画のそれぞれの策定委員会の連絡調整会議を新たに組織し、策定委員会委員の中から何名かの委員に出席していただいて調整会議を行いたいと考えておまして、選任にあたっては、前回の会議で会長に一任させていただきますとのことで決めさせていただいております。お手元に参考資料として名簿を配布しておりますが、農業振興計画策定委員2名、漁業振興計画に関連する方2名、本地場企業等活性化審議会委員から北山会長と酒井副会長に依頼し、了解をいただいておりますので、その旨ご報告させていただきます。なお、その委員の連絡調整会議ですけれども、10月24日の13時30分から市役所にて開催予定となっておりますので、よろしく願いいたします。

もう一点、次回の会議ですが、本日議論いただきました計画の素案に関連する図や表、データを入れ込み、実際の次年度の事業実施に向けて、関連機関と調整し、必要に応じて修正箇所もあるかと思っておりますので、次回は11月の中旬から下旬に審議会を開催させていただきたいと思っております。ど

うぞよろしくお願いたします。事務局からの連絡事項は以上になります。

【北山会長】

それでは、次回は原案となるということでよろしいでしょうか。

【事務局（小島課長）】

はい。

【北山会長】

わかりました。次回は11月中旬から下旬。他に連絡事項はありませんか。それでは、これで議題を終了させていただきたいと思います。今日は、どうもありがとうございました。

平成28年10月24日 議事録確定

石狩市地場企業等活性化審議会

会 長 北 山 寛